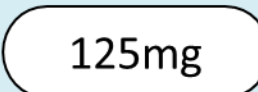
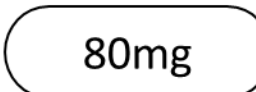
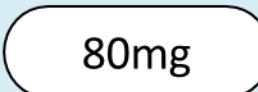
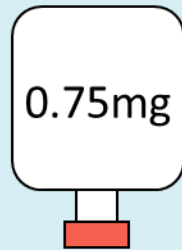
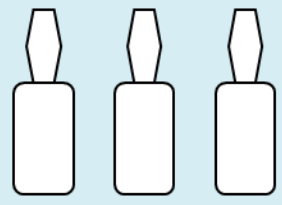





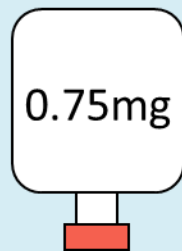

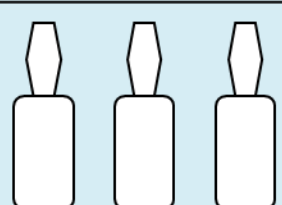


抗がん薬制吐療法一覧（催吐性リスク別）

- 日本癌治療学会 制吐療法診療ガイドラインに準拠しています。
- 使用する抗がん薬（レジメン）の催吐性リスクに応じて適切な制吐療法が選択されますが、患者さん毎に調節を行ったり、その他の薬剤を組み合わせたりする場合があります。

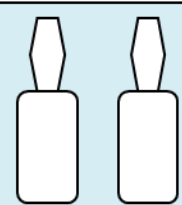
①高度催吐性リスクの注射抗がん薬に対する制吐療法

	1	2	3	4	(day)
イメンドカプセル	 125mg	 80mg	 80mg		
アロキシ 点滴静注バッグ	 0.75mg				
デキサート注	 9.9mg				
デカドロン錠		 8mg	 8mg	 8mg	

②中等度催吐性リスクの注射抗がん薬に対する制吐療法

	1	2	3	4	(day)
アロキシ 点滴静注バッグ	 0.75mg				
もしくは					
グラニセトロン注	 1mg				
デキサート注	 9.9mg				
デカドロン錠		 8mg	 8mg		

③軽度催吐性リスクの注射抗がん薬に対する制吐療法

	1	2	3	4	(day)
デキサート注	 6.6mg				

④最小度催吐性リスクの注射抗がん薬に対する制吐療法

※一般に予防的な制吐薬は不要